



2023年8月14日

各 位

東京都墨田区太平四丁目1番3号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長CEO 一瀬 健作
(コード番号: 3053) 東証プライム
取 締 役 安 田 一 郎
問い合わせ先 総務人事本部長
電 話 番 号 0 3 (3 8 2 9) 3 2 1 0

2023年12月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想値の修正、 並びに2023年12月期 第2四半期会計期間の特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年12月期 第2四半期累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)において、2023年2月14日に公表しました2023年12月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせするとともに、2023年12月期 通期業績予想に関して下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2023年12月期 第2四半期会計期間において特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年12月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異について

(1) 2023年12月期 第2四半期累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)の業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 7,661	百万円 △110	百万円 △123	百万円 △155	△3円94銭
実 績 (B)	7,279	△375	△383	△505	△11円66銭
増 減 額 (B-A)	△381	△265	△259	△350	
増 減 率 (%)	△5.0	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期 第2四半期)	7,207	△798	224	△868	△22円05銭

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染症がこれまでの2類相当から季節性インフルエンザ等と同等の5類に引き下げられ、人々の生活環境がコロナ禍以前の状態に戻りつつあるものの、生活様式の変化により売上回復が当初の見込みを下回ったこと、水道光熱費及び食材仕入の高騰により営業利益が当初予想を下回ったこと、及び2023年12月期 第2四半期累計期間に減損損失137百万円を計上したことにより、売上高381百万円、営業利益265百万円、経

常利益 259 百万円及び当期純利益 350 百万円業績予想を下回ることとなりました。これにより実績は、売上高 7,279 百万円、営業利益△375 百万円、経常利益△383 百万円及び当期純利益△505 百万円となりました。

2. 2023 年 12 月期 通期の業績予想値の修正について

(1) 2023 年 12 月期 通期 (2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日) の業績予想値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 15,392	百万円 130	百万円 103	百万円 39	0 円 99 銭
修 正 (B)	14,956	△409	△426	△580	△13 円 92 銭
増 減 額 (B - A)	△436	△540	△530	△620	
増 減 率 (%)	△2.9%	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022 年 12 月期)	14,775	△1,555	△503	△1,925	△48 円 86 銭

通期業績予想につきましては、第 2 四半期累計期間の実績値が当初予想を下回り、第 3 四半期以降の業績予想を見直したことにより、上記のとおり修正をいたします。

3. 特別損失の計上について

当社が運営する既存店舗の内、収益性の回復が見込まれない店舗において、2023 年 12 月期第 2 四半期会計期間に減損損失 50 百万円を特別損失として計上いたしました。

4. 業績に与える影響

業績への影響については、本日公表の「2023 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映しております。

以 上